

遠山邸大広間

端午の節句飾り

4/17(水)-5/6(月・祝)



遠山邸2階

春の公開日

4/20(土)

5/18(土)



秋の公開日

9/21(土)

10/14(月・祝)

遠山邸大広間

雛壇飾り

2/1(土)-3/9(日)



2024

3/20(水・祝)-5/19(日)

子の日図屏風と宮廷文化

当館で所蔵する「源氏物語子の日図」は、徳川家定の正室である鷹司任子(たかつかさあつこ)の婚礼調度として、狩野養信によって制作されたことが判明する、近世狩野派の重要作例の一つです。2024年のNHK大河ドラマ「光る君へ」の放送に合わせ、本作をはじめ平安時代の古筆、王朝文化の香りを伝える香道具などを展示します。

6/1(土)-9/1(日)

コレクション展1

幅広いジャンルを持つ遠山記念館のコレクションの中から、近代の日本画や工芸作品、また中国の陶磁器などを選んで展示します。

9/14日(土)-11/4(月・祝)

エジプト古代染織

・コプト裂100点

一織り文様は何を表しているのかー

4〜8世紀のエジプトのキリスト教徒が身に着けた衣服や布には、古代王朝の神ではなく、ギリシア・ローマの神々や、ナイル川の動物が織りだされた。組紐文様、キリスト教図像も加わり、変化し流行を続けた。巧みな織り文様の意味を知り、のどかな表現をお楽しみください。

2025

11/23日(土・祝)-1/19(日)

コレクション展2

年末年始に合わせ、遠山記念館のコレクションの中から新年の干支である蛇に因んだ美術作品、また正月をお祝いするのにふさわしい作品を選んで展示します。

2/1(土)-3/9(日)

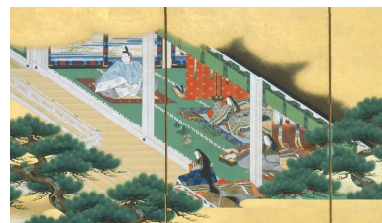
雛の世界

江戸期に開花した人形文化は、日本独自の雛人形を母体として、多種多様な人形を生み出してきました。大型で豪華な享保雛から芥子雛まで様々な雛人形の他、嵯峨人形、御所人形、賀茂人形などを展示いたします。日本人形の魅力をご堪能下さい。遠山邸の大広間では、十畳の座敷いっぱいに飾られた雛壇を展示します。

3/20(木・祝)-5/18(日)

近代の「日本画」

明治維新によって、江戸時代の様々な制度はその形を大きく変えていきます。絵画においては狩野派などの家組織が解体され、学校で絵画が教授されるようになったのです。特に東京美術学校では旧狩野派の橋本雅邦の門下から、横山大観や菱田春草らが育ち、西洋絵画の影響を受けた彼らの作品は、後に「日本画」と呼ばれるようになります。本展では遠山記念館の日本画の精鋭を並べます。



狩野養信「源氏物語子の日図」(部分)



長次郎「黒楽茶碗 銘 巖」



コプト裂



豊川光長「巳」



享保雛



横山大観「耀八絃」

開館時間 午前10:00～午後4:30(入館は4:00まで)

入館料 特別展 大人1,000円(800円) 学生800円(640円)

通常 大人800円(640円) 学生600円(480円)

庭園邸宅のみ 大人600円(480円) 学生400円(320円)

中学生以下は無料、()は団体料金です。

休館日 月曜日(祝祭日の場合は開館、翌日休館)

また下記の日程で休館させていただきます。

4/16(火)、5/8(水)、7/9(火)、12/21(土)～2025 1/5(日)、

1/30(木)～1/31(金)、3/11(火)